

令和5年度

自己評価報告書

令和6年3月21日

穴吹国際みらい専門学校

1. 教育理念、目的

教育理念	職業教育を通して、地域社会に貢献する人材を養成する。
目的	専門力と人間力とともに、高い倫理観を兼ね備え、自ら行動できるプロたる人材を養成する。

2. 令和5年度の目標と計画

目標	<p>(重点目標)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 出願目標50名とし、入学目標である48名を達成する2. 担任と管理職が連携の上、学生、保護者とも早期に対応し、退学率3%未満を達成する3. 学科ごとに教育内容の更なる充実を図り、業界並びに地域社会から必要とされる人材を育成する4. 新しいことへ積極的に挑戦する一方、業務の効率化・簡略化も進め、教育力と収益力を向上させる
計画	<p>(目標達成のための具体的事業計画、行動計画)</p> <ol style="list-style-type: none">I OCにおける体験内容のブラッシュアップと学科の魅力を訴求するプレゼン力の向上により入学目標である48名を達成するII 年間を通じて一貫した信念のある指導を行い、信頼関係の構築と保護者との連携強化により退学率3%未満を達成するIII 外部実習やインターンシップなどを有効活用し、業界内定を意識した進路指導により日本人、留学生共に2月末までに内定率100%、3月末までにビザ取得100%を達成する

3. 評価項目別評価結果

① 教育理念・目的・育成人材像

評価	A
-----------	----------

評価結果 (総括)	本校の教育理念は「職業教育を通して地域社会に貢献する人材を養成する」と定めており、 年度または期の初めに示され、教職員の共通に認識となっている。
取組状況と その分析	こども未来教育学科が職業実践専門課程の認定を受け、 それに伴う各種委員会の実施など、組織的に取り組むことができた。 ホームページの情報も随時更新している。 (ブライダル・ホテル学科および国際ホテルビジネス学科も各種委員会は実施している)
今後の 改善方策等	更に教育の質向上のための工夫と改善を実施し、地域社会に貢献する人材育成に取り組む。

1-1	教育理念・目的・育成人材像（以下「教育理念等」）は、定められていますか	A
1-1-a	教育理念等はそれぞれ定められていますか	○
1-1-b	教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	○
1-1-c	学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	○
1-1-d	教育理念等を学校外に広く公表していますか	○
実施状況等	教育理念等をホームページに掲載し、学生便覧等でも周知している。	
確認資料	学生便覧、学校ホームページ、教室掲示物	

1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	A
1-2-a	中期的（3～5年程度）な視点で、学校の将来構想を描いていますか	○
1-2-b	地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	○
実施状況等	単年とは別に中期の経営計画・目標・方針を策定している。 職業実践専門課程の各委員会を実施し、助言を頂きながら策定している。	
確認資料	中期経営計画、目標・基本方針、各委員会議事録	

② 学校運営

評価		A
評価結果 (総括)	定期的に理事会、評議員会が開催されており、さまざまな課題への取り組みや方向性が検討され決定周知されている。	
取組状況と その分析	運営方針、事業計画は各年度はじめに教職員大会で周知される。また、各組織毎に会議が定期的に開催され、運営方針に沿った業務活動の報告、検討及び修正等が行われている。承認申請書や稟議書、業務報告書、出張申請書などをワークフロー対応し、ペーパーレス化を進めた。	
今後の 改善方策等	運営方針に沿った、更なる各内容の充実と業務効率の向上を目指す。 今後、勤務カードもワークフロー対応にて、ペーパーレス化を目指す。	

2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	A
2-1-a	運営方針は定められていますか	○
2-1-b	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	○
2-1-c	運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	○
実施状況等	年度ごとに運営方針が定められ、職員大会等で周知されている。	
確認資料	目標・基本方針資料	

2-2	事業計画を作成し、執行していますか	A
2-2-a	事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいますか	○
2-2-b	事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	○
実施状況等	運営方針に沿って事業計画及び年度予算を作成し、運営されている。	
確認資料	目標・基本方針資料、収支予算書	

2-3	組織運営は適切に行われていますか	A
2-3-a	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されていますか	○
2-3-b	意思決定に至る手順・ルートは規程等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	○
実施状況等	学校運営にあたっての理事会、評議員会は定期的開催されており、さまざまな課題への取り組みや方向性が検討されている。	
確認資料	穴吹学園寄附行為、理事会・評議員会議事録、学園規程集	

2-4	人事・給与に関する制度を確立していますか	A
2-4-a	人事・給与規程等が整備され、運用されていますか	○
実施状況等	規程集に明文化されている。	
確認資料	学園規程集	

2-5	業務の効率化を図っていますか	A
2-5-a	情報システム化に取り組むなど業務の効率化に努めていますか	○
実施状況等	教職員各1台PCを配備し、グループウェア（desknet's）及び学内統合情報システム（S-Wing）を業務に活用している。また、ワークフローによる申請・報告書のペーパーレス化も実施。	
確認資料	パソコン、グループウェア（desknet's）、学内統合情報システム（S-Wing）	

③ 教育活動

評価		A
評価結果 (総括)	教育理念、教育課程は明文化され、育成人材像に向けた教育活動が概ね実施されているが、一部下記に示す部分等に不十分なところがあり、今後の課題である。	
取組状況と その分析	各学科ともに教職員、非常勤講師と連携し、授業運営が行われている。 また、職業実践専門課程により、今まで以上に関連分野の企業、団体との連携を深め、授業運営、各種行事、教育指導に取り組んでいる。 授業評価アンケート、授業モニターは継続実施する。	
今後の 改善方策等	シラバス、コマシラバスをより充実したものにし、教育の質を高めていく。 オンデマンド教材の作成および活用方法について検討を行う。 新人教員研修の日数および内容について、教育総研を中心に検討し、更なる充実を図る。	

◎目標の設定等

3-1	教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	A
3-1-a	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	○
実施状況等	学科目標の設定と達成率による見直しを行っている。 学生便覧に掲載し、学生への周知が行われている。	
確認資料	学生便覧、学校ホームページ	

◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	A
3-2-a	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	○
3-2-b	教育課程（カリキュラム）は、事前に学生に開示されていますか	○
3-2-c	〔職業実践専門課程〕 修業年限は2年以上ですか	○
3-2-d	〔職業実践専門課程〕 総授業時数は1,700時間以上または総単位数が62単位以上ですか	○
実施状況等	教育課程（カリキュラム）は学則で明文化されている。 職業実践専門課程にはこども学科が認定されている。（ブライダル、国際ホテル学科も申請予定）	
確認資料	学則	

3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	A
3-3-a	キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）（平成23年1月31日）の内容を参照していますか	○
3-3-b	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	○
実施状況等	キャリアサポーター養成講座等を受講し、キャリア・サポーターの有資格者教員を増やしている。 社会人基礎講座を開講し、キャリア教育に関する内容を実施している。	
確認資料	研修報告書、シラバス、コマシラバス	

3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	A
3-4-a	学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	○
3-4-b	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	○
3-4-c	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、授業科目等教育課程を編成・見直していますか	○
3-4-d	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っていますか	○
実施状況等	授業評価アンケート（年2回）と結果を踏まえた所属長との面談を実施している。 学園内の教育総研による「授業モニター」を年1回実施している。	
確認資料	授業評価アンケート集計結果資料、授業モニター評価シート、振り返りループリクシート、事業報告書、教育課程編成委員会議事録	

◎成績評価・単位認定等

3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	A
3-5-a	成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	○
3-5-b	成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	○
実施状況等	成績評価基準は学則に記載されている。 学生便覧や成績表にも同様の内容を記載し、学生に周知している。	
確認資料	学則、学生便覧、成績表	

3-6	成績評価等を適正に行っていますか	A
3-6-a	判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	○
3-6-b	[職業実践専門課程] 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っていますか	○
実施状況等	進級卒業判定会議を実施し、判定している。 外部実習等では実習先において、学習成果の評価をいただいている。	
確認資料	進級卒業判定資料、進級卒業判定会議議事録、学則、学生便覧、	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	A
3-7-a	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	○
3-7-b	カリキュラムや授業計画（シラバス）は文書化またはデータ化し、学生に配付していますか	○
実施状況等	カリキュラムを組み、前期および後期開始時に学生に説明している。 シラバス、コマシラバス共に学生に配布している。	
確認資料	カリキュラム、シラバス、コマシラバス	

3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	A
3-8-a	資格・免許取得のための指導体制がありますか	○
実施状況等	資格取得指導者の主担当が指導計画の立案や担当者の割り当てを行い、組織的に指導している。	
確認資料	指導（補講）計画、業務報告書、時間割	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	A
3-9-a	教員数は関係法令等を満たしていますか	○
3-9-b	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	○
実施状況等	教員要件を満たした者で授業運営しているが、必要に応じて教員募集を行なっている。 安定的に質と量の両面での教員確保が課題である。	
確認資料	教員名簿	

3-10 教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか		A
3-10-a	県専各連合会主催研修会、企業や各種の団体が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか	○
3-10-b	校内研修（OJT）を行っていますか	○
3-10-c	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させていますか	○
3-10-d	〔職業実践専門課程〕教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	○
実施状況等	教員研修規程に則り、組織的・計画的に研修を実施している。 年間ひとり15H以上の研修受講を推奨している。	
確認資料	教員研修規程、研修受講報告書	

◎地域に根ざした教育

3-11 地域と協力、連携した教育を行っていますか		B
3-11-a	地域の人材を活用して、授業等を行っていますか	○
3-11-b	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか	○
3-11-c	地域の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	○
3-11-d	県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	×
実施状況等	特別授業・実習という形で地域の企業、業界団体より講師を招いて講義をお願いしている。 教育実習やインターンシップは授業科目として実施している。	
確認資料	特別授業・実習企画書、校外実習（インターンシップ）委託協定書、報告書	

3-12 地域の特性を活かした教育を行っていますか		A
3-12-a	学生が地域の産業、自然、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	○
3-12-b	公共のマナーや交通マナーについて、教育・指導していますか	○
実施状況等	外部実習指導において、自然や文化、歴史などに触れた教育を行っている。 新入生オリテ以外にも、年間を通して各担任よりルールやナーの指導を行っている。	
確認資料	学生便覧、新入生オリエンテーション資料	

④ 学修成果

評価		A
評価結果 (総括)	各学科、資格取得等の目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組んでいる。 就職率および卒業率ともに高い目標を掲げ、目標達成に向けて取り組んでいる。	
取組状況と その分析	教員は学科ごとの目標を常に意識し、科目指導や学生指導を行っているが十分な成果達成には至っていない。就職についても初期の段階から意識付けを行い、学生の個性、希望に応じた就職活動支援を行っている。	
今後の 改善方策等	学習の成果として主要資格の取得と就職率や就職先等の内容を更に高めていくために、各種データの更なる蓄積と分析、関係業界との連携による情報収集や情報の発信を行う。	

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	A
4-1-a	資格・免許取得率の目標設定をしていますか	○
4-1-b	取得率向上のための対策等を講じていますか	○
実施状況等	資格取得の目標数値は学科ごとに毎年設定し、資格取得に向けた補講等を行っている。	
確認資料	教務会議資料	

4-2	就職率の向上が図られていますか	A
4-2-a	学生に就職に対する目標を立てさせていますか	○
4-2-b	学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	○
実施状況等	各月の内定目標を設定している。 就職キャリアセンターと連携し、社会人基礎講座や面接対策授業で指導・助言している。	
確認資料	目標基本方針、就職目標資料、就職活動報告書	

4-3 地域、関連業界への就職が図られていますか		A
4-3-a	早期または関連業界へ就職することの意義・メリット等について説明していますか	○
4-3-b	地域への就職率の向上は図られていますか	○
4-3-c	関連業界への就職率の向上は図られていますか	○
実施状況等	<p>社会人基礎講座等で動機付けを行い、職業観を養う。</p> <p>関連業界への就職率は高い水準を維持している。</p>	
確認資料	<p>学生内定状況一覧</p>	

⑤ 学生支援

評価		A
評価結果 (総括)	担任制による個別指導を中心に、各学科による情報の共有とその検討、対策により学生への学習支援を行っている。	
取組状況と その分析	就職支援については就職キャリアセンターを設置し、専任職員と担任による年間を通じた支援が行われ、留学生に対しても留学生サポートセンターを設置し、生活面から進路に至る支援を行っている。 在学生に対しては手厚い対応がなされているが、卒業生に対してフォローが出来ていない。	
今後の 改善方策等	低学力の学生への学習支援（学びラボ）を充実させていく。 卒業後の動向把握と支援体制の内容検討を行う。 発達障害やこころの病の学生対応について、研修会の実施など、組織的に取り組む。 カウンセラー以外にも独立した組織による学生相談窓口の設置を検討する。	

◎ 中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	A
5-1-a	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	○
5-1-b	中途退学防止のための対策を講じていますか	○
実施状況等	問題学生の早期発見とガイダンスの実施、退学防止に係る教員研修を実施している。 学びラボと連携し、基礎学力不足による退学抑止を組織的に実施。	
確認資料	学生指導履歴、学びラボ資料	

◎ 就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	A
5-2-a	就職等に関する支援部署・相談部署（就職担当部門）はありますか	○
5-2-b	就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	○
5-2-c	より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか	○
実施状況等	就職専任職員と担任との定期的なミーティングを実施し、学生の就職活動を支援している。 こども未来教育学科等の必要な学科においては、大学との併修体制を取っている。	
確認資料	就職の手引き、就職ゼミ教材	

5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	A
5-3-a	企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	○
5-3-b	就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	○
5-3-c	履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	○
実施状況等	求人情報の公開、セミナー、面接対策授業への参加への推奨など、問題なく実施している。 履歴書などについては社会人基礎講座の指導内容で対応している。	
確認資料	求人票、就職の手引き	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	A
5-4-a	入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っていますか	○
5-4-b	学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応できる体制がありますか	○
実施状況等	担任は学内統合システムに学生指導履歴を記録として随時入力し、保存している。 平成29年度より専門職員によるカウンセリングルームを設置している。	
確認資料	学生指導履歴	

5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	A
5-5-a	いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	○
5-5-b	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	○
実施状況等	Hyper-QUアンケートによる早期発見とアンケート結果を踏まえたガイダンスを実施。 専門職員によるカウンセリングルームを設置している。（別途、学生相談窓口設置を検討）	
確認資料	Hyper-QUアンケート結果	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	A
5-6-a	公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	○
5-6-b	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	○
実施状況等	日本学生支援機構、経済的支援奨学生制度の案内、募集を実施している。 特待性制度、家賃支援・遠方奨学生制度などが整備されている。	
確認資料	募集要項	

5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	A
5-7-a	学生に対し、定期健康診断を実施していますか	○
5-7-b	有所見者の再健診について適切に対応していますか	○
実施状況等	年1回、全学生を対象に健康診断を実施している。 定期的に検便を実施している。	
確認資料	健康診断書	

5-8	生活環境支援体制を整備していますか	A
5-8-a	遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	○
実施状況等	令和2年度より女子寮を廃止したが、遠隔地の学生に対しては提携不動産会社によるアパート・マンションの紹介は引き続き行っている。（家賃支援制度や遠方奨学生支援制度などの免除制度あり）	
確認資料	募集要項	

◎ 保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	A
5-9-a	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていきますか	○
5-9-b	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	○
5-9-c	緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	○
実施状況等	保護者総会以外にも、今年度、授業参観を企画したが、希望者がいなかった。 学生調査書に保護者の携帯番号や緊急連絡先が記載されている。	
確認資料	学園新聞、学生指導履歴、学生調査書	

◎ 卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	A
5-10-a	年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	○
5-10-b	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	○
実施状況等	卒業時の動向などはDBに入力し、管理している。 担任からの情報の集約と合わせ、企業訪問の際にも卒業生の状況調査・確認を行っている。	
確認資料	就職先一覧表、就職キャリアセンター資料、学校基本調査報告書	

5-11 卒業生への支援体制を整備していますか		C
5-11-a	資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	×
5-11-b	再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	○
5-11-c	卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか	×
5-11-d	学校は同窓会との連携を図っていますか	○
実施状況等	卒業後、担任レベルで支援することはあるが、学校の支援体制は整っていない。 同窓会による卒業表彰など、連携体制は構築されている。	
確認資料	同窓会資料、卒業式資料	

5-12 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか		D
5-12-a	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	×
5-12-b	教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか	×
実施状況等	前学校との単位互換はなく、学則等にも記載されていない。 教育訓練給付金認可条件満たしていない。（最短修業年限での学科設置：保育士等の受験資格）	
確認資料		

⑥ 教育環境

評価		A
評価結果 (総括)	関係法令に基づき施設・整備を整備しており、備品等も適宜追加、補充が行われている。 経年劣化による一部部品の故障などが発生しているが、随時修理を行っている。	
取組状況と その分析	年間計画に沿って各種メンテナンスと各設備点検も専門業者により定期的実施されている。 防災に関しても管轄消防署へ防災計画書を提出し、毎年火災、地震を想定した避難訓練を実施している。	
今後の 改善方策等	定期的に備品を点検し、教育に支障のない環境を常に維持する体制を整える。 防災に対する意識づけを行うため、避難訓練は今後も継続して定期的実施する。	

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	A
6-1-a	施設・設備、教員等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	○
6-1-b	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	○
実施状況等	関係法令に基づく施設・設備を整備している。 電気保安、消防設備、エレベーター等の専門業者による定期点検の実施	
確認資料	関係法令、施設設備備品目録、各点検報告書	

6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	A
6-2-a	校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	○
6-2-b	校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	○
6-2-c	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	○
実施状況等	こども福祉教育、ホテル・ブライダル学科共に授業カリキュラムとして実施している。 優秀生海外研修をはじめコロナ前と同様に海外研修も実施している。	
確認資料	教育実習（インターンシップ）評価表、保育実習評価表	

6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	A
6-3-a	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ていますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	○
6-3-b	施設・設備の耐震化を図っていますか	○
実施状況等	防災計画は年度当初に所轄の消防署に届けており、定期的な点検を受けている。	
確認資料	危機管理規程、防災計画書	

6-4	防災訓練等を実施していますか	A
6-4-a	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	○
6-4-b	シェイクアウトや各県・市・町が行う防災訓練等に参加していますか	○
実施状況等	年1回、シェイクアウトと同様の消防避難訓練を実施している。 (コロナ前までは消防署立ち会いの訓練を実施していたが、コロナ以降は簡易的な内容となっている。)	
確認資料	消防避難訓練マニュアル、避難訓練企画書、危機管理組織図	

⑦ 学生募集と受入れ

評価		A
評価結果 (総括)	<p>広報キャリアセンターを中心に教職員全員で学生募集活動に関わっている。</p> <p>また社会人、留学生等広く門戸を拡げ、募集活動に取り組んでいる。</p> <p>授業料等の納付金は事務局が管理し、適正に処理している。</p>	
取組状況と その分析	<p>オープンキャンパス等の学内説明会では、在校生や特別講師の協力を得て、直接対話を 中心に本校の説明を行い、本校の教育内容を理解してもらえるよう努力している。</p> <p>授業料等の納付金は学生募集要項に明記されており、説明会等で詳しく説明されている。</p>	
今後の 改善方策等	<p>広報媒体、制作物、ホームページ等を利用し、更なる広報活動に取り組む。</p> <p>本校が提供できる体験講座の内容を見直し、高校のニーズに沿った提案ができるように改編する。</p> <p>子育てや女性の就業支援のための体制については、今後も継続課題である。</p>	

7-1	学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	A
7-1-a	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	○
7-1-b	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	○
7-1-c	体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	○
7-1-d	入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	○
実施状況等	学校案内パンフやオープンキャンパス、HP等を通じ、学校の教育内容や情報を紹介している。 学生募集に関して、入学相談室（広報部）を設置している。	
確認資料	学校紹介パンフレット、学生募集要項、ホームページ	

7-2	授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	A
7-2-a	入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	○
7-2-b	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応していますか	○
実施状況等	学生募集要項、ホームページに明記されている。 授業料返還にも適切に対応している。	
確認資料	学生募集要項、ホームページ	

7-3	社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	B
7-3-a	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	○
7-3-b	教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取り組んでいますか	×
7-3-c	給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	○
7-3-d	子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えていますか	○
実施状況等	穴吹カレッジ特待生制度や家賃支援制度、高資格・検定取得者特待制度などを設定している。 子育て支援体制のひとつとして、企業主導型保育所を保有している。	
確認資料	学生募集要項、ホームページ	

⑧ 財務

評価	A
-----------	----------

評価結果 (総括)	出願数、入学数及び定員充足率についてはデータが蓄積され、学校運営の基幹数字として把握されている。また学校法人会計により、適正な会計処理が行われており、校運営責任者会議において、定期的に財務状況の把握と検討が行われている。
取組状況と その分析	予算執行にあたっては各所属長の承認を得て執行され、予算と実績について定期的に確認管理されている。また学園本部監査室による定期的な監査、報告指導が実施され、常に改善が行われている。
今後の 改善方策等	中長期的に安定した財務基盤を目指し、経費削減の取り組みや効率化、施設設備の充実等をバランス良く行い、より強固な財務体質を作る。

8-1	学校及び設置者（法人）の収支、財政基盤は安定していますか	A
8-1-a	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	○
8-1-b	収入と支出のバランスが取れていますか	○
8-1-c	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	○
実施状況等	校運営責任者会議において、定期的に財務状況の把握と検討が行われている。	
確認資料	予算資料、実績検討資料	

8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	A
8-2-a	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	○
8-2-b	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	○
実施状況等	校運営責任者会議において、定期的に財務状況の把握と検討が行われている。	
確認資料	予算資料、実績検討資料	

8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	A
8-3-a	会計監査体制のルールが明確化されていますか	○
8-3-b	会計監査の結果報告が文書化されていますか	○
8-3-c	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	○
実施状況等	<p>学園本部監査室により監査、報告指導が実施されている。</p> <p>決算情報はホームページに公開されている。</p>	
確認資料	決算報告書、監査報告書、事業報告書、財産目録、ホームページ	

⑨ 法令等の遵守

評価		A
評価結果 (総括)	学園本部を中心に、専修学校設置基準に該当する各法令に従い、申請、届出、報告が行われている。	
取組状況と その分析	コンプライアンス室を設置し、個人情報の取り扱いについては規程集に定め、周知されている。 職業実践専門課程認定により、自己評価及び学校関係者評価を行い、組織的に継続して改善に取り組んでいる。	
今後の 改善方策等	個人情報の取り扱いについて、教職員に対して定期的に意識づけを行っており、今後も継続して周知、意識付けを行う必要がある。 自己評価、学校関係者評価による改善等を継続して行い、常に活性化することが必要である。	

9-1	専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされていますか	A
9-1-a	監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	○
9-1-b	学校運営に必要な諸規程を整備し、それを適正に運用していますか	○
9-1-c	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規程を文書化し、対策を立て実行していますか	○
実施状況等	県学事課をはじめ、監督官庁に対し、遅延することなく申請・届出を行っている。 コンプライアンス室を設置し、法令順守に努めている。	
確認資料	各届出資料、学園規程集	

9-2	個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	A
9-2-a	個人情報の取扱いについて、規程・方針を策定していますか	○
9-2-b	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	○
9-2-c	リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	○
実施状況等	個人情報の取り扱いについて規定集に定め、周知されている。	
確認資料	個人情報保護規定、規程集（情報セキュリティ規定）	

9-3 自己評価を実施し、その結果を公表していますか		A
9-3-a	自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-3-b	実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	○
9-3-c	自己評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-3-d	自己評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	○
実施状況等	自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化し、教職員組織により取り組みホームページにて公開している。	
確認資料	自己評価報告書	

9-4 [職業実践専門課程] 学校関係者評価を実施し、その結果を公表していますか		A
9-4-a	学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-4-b	実施のための組織体制を整備していますか	○
9-4-c	設置課程・学科の関連業界等から委員を選出していますか	○
9-4-d	学校関係者評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-4-e	学校関係者評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	○
実施状況等	学校関係者評価委員会を設置し、学校評価を適正に実施運用するためのルールを明文化し、ホームページにて報告している。	
確認資料	学校関係者評価委員会規定、学校関係者評価委員会議事録、ホームページ	

9-5 学校の教育情報について、積極的に公開していますか		A
9-5-a	学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	○
9-5-b	[職業実践専門課程] 認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新していますか	○
実施状況等	ホームページにて常に情報の更新と発信を行っている。	
確認資料	ホームページ	

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価		A
評価結果 (総括)	教育理念である「職業教育を通して、地域社会に貢献する人材を養成する」のもと学校の教育資源を利用した地域貢献、学生ボランティア活動、高校生の職業意識向上に対応している。	
取組状況と その分析	高校等からの研修の受け入れやこちらから出向いての出前授業、ボランティア活動等、年間を通して多くの活動を行っており、その経験において在校生、卒業生ともに貴重な学びの場となっている。	
今後の 改善方策等	学生の安全面や健康面、学業とのバランスを保ちつつ、引き続き積極的に関わる。また、それら貢献度の評価基準や数値化も模索し、学校の成果を社会に還元する。	

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	A
10-1-a	地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）等を積極的に受託していますか	○
10-1-b	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	○
実施状況等	地域の関連業界が開催する公開講座等があれば、積極的に受諾し、設備等を開放している。公共機関、教育機関からの依頼があれば、出前授業などに積極的に関わっている。	
確認資料	各依頼状	

10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	A
10-2-a	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	○
10-2-b	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	○
実施状況等	ボランティア募集はクラスでの周知や掲示により実施している。近隣清掃を行う際は、教員も同行して一緒に清掃活動を行っている。	
確認資料	ホームページ、近隣清掃資料	

10-3 学生の地域との交流を奨励・支援していますか		A
10-3-a	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	○
10-3-b	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等（分野により研究・開発）を行っていますか	○
実施状況等	学生の地域行事（福山ばら祭等）へのボランティア参加を奨励している。 教育実習や模擬挙式等において、地域と連携した授業を実施している。	
確認資料	業務報告書（企画書） 教育実習評価表、保育実習評価表、プレシャスウエディング企画書	

10-4 高校生等の職業意識涵養に努めていますか		B
10-4-a	県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか	×
10-4-b	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	○
実施状況等	高校生に対しては、教育連携等によりマナー指導や面接指導、職業体験などの依頼を積極的に受け入れている。	
確認資料	教育連携資料	

⑪ 総括

評価		A
評価結果 (総括)	学校評価の目的に沿って自己評価を行い、学外の学校関係者による委員会を経て、評価を公開している。	
取組状況と その分析	関連団体や関連企業、卒業生、教育関係者の皆さまに学校関係者評価委員として参画頂き、委員会の中で学校が実施した自己評価や各種アンケート結果等について評価、助言を頂き、今後の学校運営の改善に活用している。	
今後の 改善方策等	学校関係者評価委員会を今後も継続して開催し、客観的な評価、助言を頂くことで更なる学校運営の改善を図る。	

11-1	学校評価の実施について評価してください	A
11-1-a	学校評価の目的（何のために学校評価をするか）が、全ての教職員に浸透していましたが	○
11-1-b	学校評価を積極的に実施できましたか（受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか）	○
11-1-c	評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	○
11-1-d	学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	○
11-1-e	評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	○
実施状況等	自己評価の実施や評価に向けた体制を構築し、積極的に実施することが出来ている。 評価結果の内容は教務会議において情報共有を行っている。	
確認資料	学校関係者評価委員会資料、教務会議資料	

4. 自己評価結果（総括）

評価	A
----	---

目標達成状況	<p>1. 入学目標 令和5年度 入学目標達成（令和6年度生）</p> <p>2. 退学率目標 令和5年度 退学率目標未達成</p> <p>3. 就職目標 令和5年度 就職目標達成（ビザ一部学生未取得）</p>
今後の課題・改善方策	<p>1. 次年度以降もOCにおける体験メニューと学科説明ツールのブラッシュアップを継続実施し、全学科これまで以上に捕捉率の向上に努め、入学目標を達成する。</p> <p>2. 学生の言動に気を配り、問題の早期発見と組織による迅速な対応を行うことで学生との信頼関係を構築し、退学目標3%未満を達成する。</p> <p>3. 外部実習やインターンシップでの実体験を通じて学生の成長を促し、業界内定を意識した進路指導と合わせ、2月までに内定率100%を目指す。</p>